

## ⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59—10714

⑪ Int. Cl.<sup>3</sup>

A 45 D 34/04

33/26

B 65 D 47/20

識別記号

庁内整理番号

6671—3B

6671—3B

8208—3E

⑬ 公開 昭和59年(1984)1月23日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

## ⑭ 化粧用コンパクト

⑮ 実 願 昭57—106784

⑯ 出 願 昭57(1982)7月13日

⑰ 考 案 者 齊藤忠雄

東京都足立区千住河原町112

⑱ 考 案 者 飯塚茂雄

東京都江東区大島3の2の6株

式会社吉野工業所内

⑲ 考 案 者 角田義幸

東京都江東区大島3の2の6株

式会社吉野工業所内

⑳ 出 願 人 株式会社吉野工業所

東京都江東区大島3丁目2番6号

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

底面中央から支柱8を起立し、該支柱8と周壁9間に仕切板10を渡して内部にクリーム状化粧品2を収容した収納皿7を、一端にヒンジ5で外蓋5を係止した枠体6内に嵌合装着した扁平な形状の容器体1と、頂壁14裏面から前記支柱8に遊嵌される垂環17及び前記仕切板10と並ぶ如く位置して収納皿7内を仕切る摺動仕切18を垂設し、且つ頂壁14の該摺動仕切板18の前進側に吐出口20を、後進側に吸気口21を夫々明け、更に吐出口20を含む頂壁14上面に化粧品受台19を形成して前記収納皿7にその上面を塞ぐ如

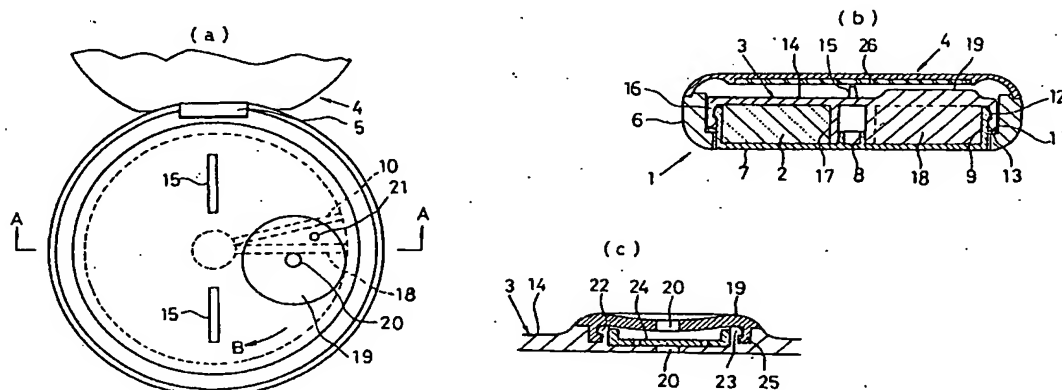
く回転可能に嵌合装着された内蓋3と、前記吐出口20を開閉する封止部材24、27とからなる化粧用コンパクト。

## 図面の簡単な説明

第1図a、b、cは本考案化粧用コンパクトの一実施例を示し、aは開蓋状態の平面図、bは閉蓋状態のa図のA-A線断面図、cはb図の化粧品受台の拡大詳細図、第2図a、bは他の実施例を示し、a図は閉蓋状態の平面図、bは縦断面図である。

1……容器体、3……内蓋、4……外蓋、6……枠体、7……収納皿。

第1図



第 2 図

